

銅 賞

矢部川浄化センターを見学して

坂田 真優

八女市立 上妻小学校

わたしが、矢部川浄化センターを見学してわかったことが二つあります。

一つ目は、「下水」についてわかったことです。「下水」とは、わたしたちが一度使つてよごれた水ということを知りました。また、下水には、「生活はいい水」や「工場はいい水」があることも知りました。

二つ目は、よごれた水をきれいにする方法についてわかったことです。水がきれいになるまでは、下水から、最初ちんでんち、反応タンク、最終ちんでんち、すなわかせつびを通つて、最後にしがいせんしようにどくをしてきれいになるということがわかりました。きれいな水になるまでに、いろんなしよりがされていたので、とてもおどろきました。

次に、水の大切さや、下水道の役わりについてわかったことがあります。

水の大切さについて分かったことは、水はみんなが使う大切なしげんということがわかりました。

次に下水どうの役わりについて大きく三つ分かったことがありました。

一つ目は、「川や海などの水しつを守る」ということがわかりました。

二つ目は、「生活かんきようを守る」ということがわかりました。最後の三つ目は、「トイレの水せんか」ということがわかりました。下水どうは、大きく三つ大切な役わりがあることがわかりました。

次は、下水しよりの仕組みや、しせつのはたらきについてわかったことがあります。

下水しよりの仕組みで分かったことは、最初ちんでんち、反応タンク、最終ちんでんちを通りだんだんと水がきれいになることがわかりました。また、反応タンクには、活せいおでいがいてよごれを食べてくれることもわかりました。

しせつのはたらきで分かったことは、中央かんししつで、下水しよりの場の中の色んなきかいをえんかくで動かしていることが見てわかりました。

最後に、学んだことを家庭でどう活かすのかについて、二つのことを考えました。

一つ目は、ゴミや食べのこしたものを下水に流すと下水かんがつまる原いんになることを学んだので、流さないように気をつけようと考えました。

二つ目は、活せいおでいは油が大のながてだということを知りましたので、ぜつたいに流さないようにしようと思いました。